

矢賀 学区だより

第499号 (毎月1回)

令和 6年12月 1日

編集発行

矢賀学区まちづくり委員会

矢賀学区連合町内会

矢賀学区社会福祉協議会

男崎神社

秋季大祭を終えて

令和六年十月二十日(日)に開催されました男崎神社秋季大祭で、宮神輿の当番町内会として十一年ぶりに担当しました。

前日には、雨模様で心配しましたが、当日は快晴で修復された宮神輿を初めて担ぐことができました。今回の担当は2回目のため、十一年前の当時よりも少し要領はわかっているつもりでしたが、担ぎ手の人集めや準備には苦労しました。

しかし、東山町内会の皆さんは、人数的には前回よりも少なかったのですが、前日の準備から当日の宮神輿巡行会場設営、豚汁の準備・接待など協力的でした。また、今回は連合町内会の補助で担ぎ手を募集することができ、体育協会男子ソフトボールチームやソフトボールスポーツ少年団OBなどから7人の助っ人を確保しました。

そして、矢賀町内を練り歩く際には、他の町内会の皆さんが宮神輿を歓迎していただき、無事に終了できました。

とを感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



担ぎ手のみなさん



男崎神社から矢賀町内へ

パークハウス東山町内会

会長 向谷 敦志

ボランティアバンク

年末・年始のカレンダー

矢賀学区社会福祉協議会のボランティアバンクは、年末年始のカレンダーを次のようにします。

	日	月	火	水	木	金	土
12月	1	2	③	4	5	6	7
	8	9	⑩	11	12	13	14
	15	16	⑰	18	19	20	21
	22	23	⑳	25	26	27	28
	29	30	31				
1月				1	2	3	4
	5	6	⑦	8	9	10	11
	12	13	⑭	15	16	17	18

(注)○：従来どおり派遣申込受付
/：バンクと作業は休みます(網掛け)

【受付】

毎週火曜日 10時～11時30分

矢賀学区社会福祉協議会

ボランティアバンク係

矢賀二丁目の亥の子祭り

亥の子祭りは、稲刈りの終わつた時期(旧暦十月(亥の月)亥の日)に行われ、収穫を祝う意味、また田の神を山に送る祭り言われています。

亥の多産にあやかつて子孫繁栄を祈るとも。また、亥の日に炬燵開きや炬燵開きをする火災を防ぐと言われている。

昔は、亥の子の日の四、五日前から子どもたちは亥の子場へ集まり、種々の面を被り鬼の装束を着て、手平金(ジャンジャン)を打ち鳴らし、太鼓を叩き、昼夜となく舞戯れて遊んでいました。

一日(金)十時、矢賀中央集会所の亥の子場で矢賀幼稚園児十六人が亥の子祭りの体験をしました。

赤、青の衣装を着せてもらい面をかぶりポーズを取り「私は誰でしょうクイズ」をして遊びました。三日(日)は、二丁目の子ども達が3班に分かれて、町内を一軒一軒、「亥の子、亥の子、亥の子餅ついて、繁盛せい、繁盛せい」と亥の子石を突いて回りました。家の人は、元気な子ども神主のお祓いを受け嬉しそうでした。



矢賀駅前
亥の子餅つき

矢賀二丁目
松谷邦二

各種団体の十二月の実施行事

1日(日)ペタンク大会
詳しくは矢賀学区まちづくり委員会のHPをご覧ください



矢賀学区
まちづくり委員会
HP

多世代カフェやが
ぽかぽか
12月14日(日)13:30~15:30
矢賀中央集会所にて
今月の企画
「クリスマス会」

小学校だより

全力で魅せた「体育参観」

全校で取り組む大きな行事の一つに、「体育参観」があります。今年度は十月二十六日に行いました。

低学年・中学年・高学年という三つのブロックごとに四十五分間の流れを考え、子ども達自身で行っていきます。

低学年の「タツタ たまいれ」では途中にダンスも取り入れながら、かごを目掛けて玉を投げている様子を見ることができました。



進行する6年生

ました。一つずつ狙って投げたり、下からすくい上げるように投げたり、複数の球を同時に投げたりと、それぞれ工夫して考えながら一生懸命取り組みました。

中学年の「アドベンチャー YAGASOBI」では、腕の伸びや体全体の動きを意識し、音楽のリズムに合わせてダイナミックに踊りました。また、「YAGALINピック」では、必要な用具の準備や片付けも自分たちで行いました。

高学年の「矢賀南中ソーラン」では、もはや高学年の伝統になっており、六年生が五年生に動きを教える(伝える)ことから始まります。練習から目標を目指して取り組み、当日も力強さとキレの良さにこだわり、しっかりと自分たちのソーランに仕上げた場面を見ていただきました。

その他の演技や競技でも、勝つても負けても、最後まで諦めることなく、全力で行っていく姿を見ていただきました。

さらに、自分以外の友達や学年が活動しているときの「応援」も途切れることなく続けました。

本校が大切にしている、「やさしい子」「がんばる子」の姿をたっふりと感じられる日になったのではないかと思います。

最後になりましたが、前日の準備や当日の片付けに協力して下さいました保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございます。

十二月の行事

- 2日(月)クラブ(四〜六年)
- 5日(木)絵本の森(一・二年)
- 9日(月)委員会(五・六年)
- 11日(水)お話し会(三年)
- 12日(木)合唱指導(五年)
- 17日(火)校外学習(六年)

江波山気象館・

こころの劇場

- 23日(月)学校朝会・給食終了
- 24日(火)冬季休業開始

幼稚園だより

広島市立矢賀小学校
校長 里本 孝文

「いよいよ師走 冬支度です」

十一月初めに、亥の子祭り体験をさせていただき、地域の皆様には大変お世話になりました。かわい小さいな鬼に変身して大喜びでした。お祭りは子ども達の心をワクワクさせてくれる伝統行事です。ありがとうございます。



亥の子祭りの体験

さて、立冬を過ぎ、朝夕の冷え込みをさらに実感する頃となりました。矢賀幼稚園は、保護者とともに通園しますので、着ている服の変化や、防寒着や手袋、マフ



縄跳び体操

ラーなど、通園途中の様々な変化を感じ取り、冬の生活になったことに気付いていきます。十二月、師走ともなれば、先生だけでなく、大人は皆大忙しです。年末までの気ぜわしい雰囲気も感じ取っていくことでしょうか。

十七日には、餅つき会も行予定です。くどに釜をかけ、火を燃やし、もち米を蒸し、べったんべつたん餅つきを行います。日本の伝統文化の一つとして、子ども達の心に残っていくと思います。

また、これから風邪をひかない元気な体となるためにも、運動会にもあった縄跳びで縄跳び体操をしています。まだまだ、跳ぶことが難しい4歳児あか組ですが、5歳児みどり組の子どもたちに教えてもらって頑張ります。

十二月は楽しい行事が目白押しです。生活発表会、音楽鑑賞コンサート、けん玉教室に、お楽しみ会、「今日はどんな楽しいことがあるかな」と期待を胸に登園してくれると嬉しいですね。

未就園児のひろばの実施日の変更がありますのでよろしくお願います。

- 1日(日)生活発表会
- 9日(月)あきシニアコンサート
- 17日(火)もちつき会
- 18日(水)お楽しみ会
- 23日(月)二期終業式
- 未就園児のひろば
- 12日(木)なかよしひろば
- 18日(水)うさぎルーム (満3歳児)



矢賀幼稚園 HP

広島市立矢賀幼稚園
園長 岩本 弥和

児童館だより

樹々が色つき、秋の深まりを感じ
る頃となりました。

十一月五日は津波・防災の日で
す。この日、児童館では津波を想
定した避難訓練を行い、来館の児
童と放課後児童クラブの児童は
矢賀小学校南校舎三階へ避難さ
せていただきました。

子どもたちは緊張した面持ち
で三階まで上がり、指導員の話
聞いてから、児童館へ戻りました。
南海トラフ地震の心配がある
昨今、指導員も気を引き締めて、
子どもたちの命を守る行動をし
ていきたいと思えます。

十二月の行事

7日(土)人形劇

(おはなしポケットさん)
19日(木)粘土(干支)づくり
(要予約)

卓球教室が始まります。

水曜日 午後3時半から4時半
他の行事に変更の場合もありま
す。詳しくはお問合せください。

年末年始の休館日

十二月二十九日(日)

一月五日(日)

広島市矢賀児童館

082(286)0543

こんにちは 障害者基幹
相談支援センターです

落ち葉のじゅうたんを踏んで
歩く季節となりました。いかが
お過ごしですか。

さて、みなさんは「医療的ケア
児」という言葉を耳にしたことが
ありますか。

医療的ケア児とは、病院を退
院した後も、引き続き呼吸を助
ける呼吸器やチューブを使った栄
養摂取、排泄管理など医療的ケ
アが必要な子どもたちのことで、
病態や必要なケア、子どもたち
の個性も様々です。近年、医療の
進歩で、退院し自宅でケアを受
けながら生活する子どもが増え
ており、令和3年に「医療的ケア
児支援法」が施行されました。

これにより、医療、福祉、教育、
行政など多くの職種が関わり、
地域全体で医療的ケア児をサポ
ートしていく動きが加速してい
ます。

広島県においても、令和3年度に
在宅の医療的ケア児及びその家
族に対する今後の支援施策等を
検討するために「医療的ケア児の
実態調査」を行いました。その調
査により、広島県において、約4
00人、広島市において約250
人の医療的ケア児が存在する事
が分かりました。

広島型 医療的ケア児・者コーデ
イネーター

広島市では、医療分野とも連
携していくために、保健師・看護
師資格を持つコーディネーター、
通称「広島型医療的ケア児・者コ
ーディネーター」を佐伯区にある
「広島市重症心身障害児者相談
支援センター」と東区にある「広
島市東区障害者基幹相談支援セ
ンター」に配置しました。

事業内容のご案内

私たちの役割は、医療的ケア
が必要な方やそのご家族が、ご
家庭に必要な医療や福祉・教育
等の支援が受けられるように総
合的な調整や相談に応じること
です。また、重度の障害を持つ心
身障害児者の保護者の方々がカ
ウンセラーとしてあたるピアカ
ウンセリングをとにも実施してい
ます。ご相談ください
たとえは・・・

● 医療的ケアが必要なのに、預
け先つてあるの？

● 福祉サービスつていうけど、何
が利用できるの？

● きょうだいと同じ学校に通う
ためにはどうしたらいいの？

といったことなど

地域で暮らして行く中でお困
りごとがありましたら、まずは
お気軽にご相談ください。

広島市東区障害者基幹

相談支援センター

電話 082(273)0140